信州大学創立６０周年記念事業

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

信州大学学士山岳会６０周年記念

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

アンナプルナ山群一周トレッキング隊

信 州 大 学 山 岳 会

信州大学学士山岳会

第三チーム　　アンナプルナ山群一周トレッキング隊

１、目的

アンナプルナ山群は我が信州大学にとってもなじみの深い山群である。
１９７１年に初めての海外遠征隊を組織しアンナプルナⅡ峰（７９３７m）に挑戦したが、最終アタッカーの佐藤正敏君が７３００mで遭難。遺体は未だに雪嶺に抱かれたままである。１９７８年には、ニルギリ・サウス峰（６８３９m）に挑戦し、見事に初登攀を成し遂げた。１９８２年には、因縁のアンナプルナⅡ峰に南稜から挑戦すべく遠征隊を送ったが、７３００mで敗退した。
今回は長年ヒマラヤの峰に憧れてきたが、仕事や家庭の事情で実現しなかった会員を対象にして、このアンナプルナ山群一周総距離数　２２０ｋmを総日数１６日間で踏破しようとするものである。最高地点はトロン・ラ（５４１５m）である。

２、期間　　2009 年 9 月 22 日～10 月 19 日

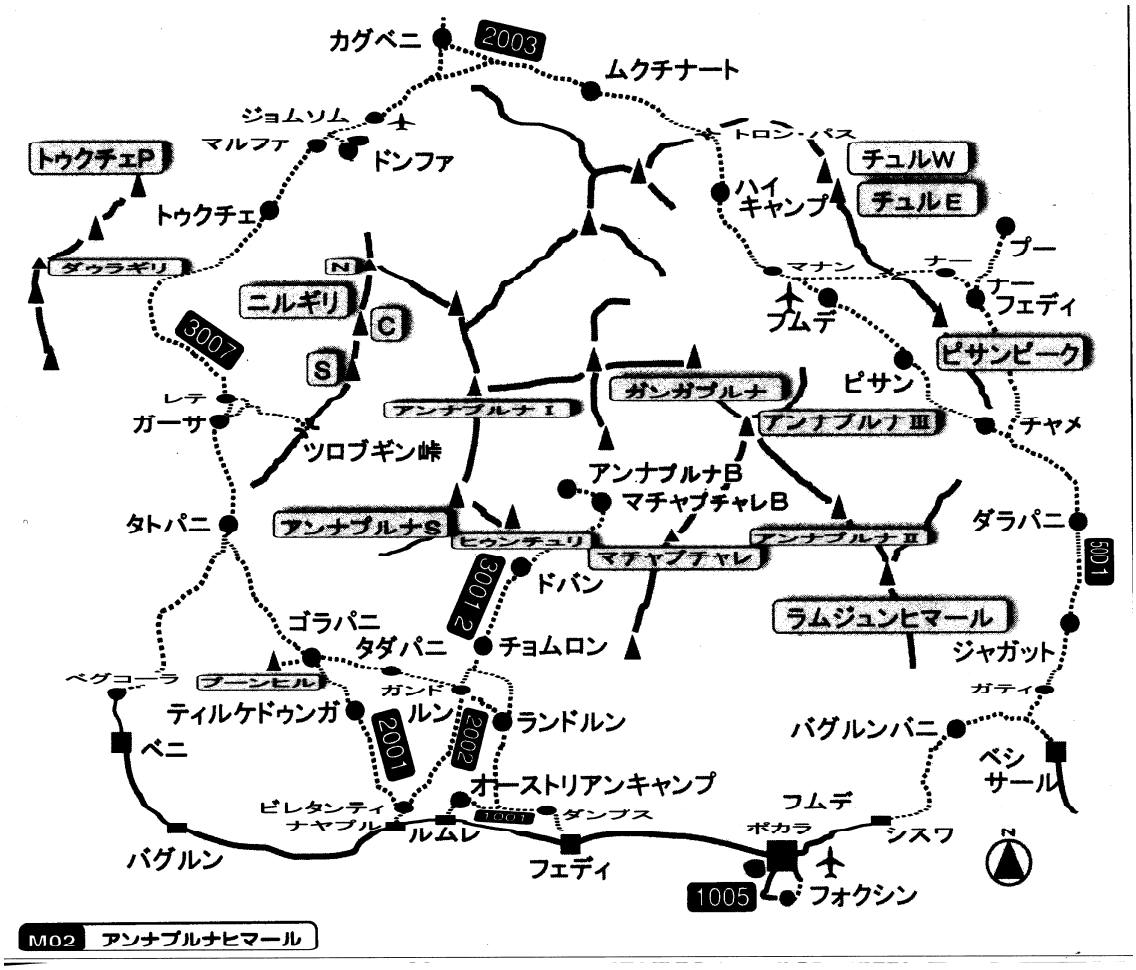
３、隊員　　２０名

隊長　松尾武久、
副隊長　（医薬）　寺田雅治、　副隊長　（会計、通信情報）　宇都宮昭義
（記録）　大安徹雄　（気象）　板谷真人　（食糧）　柴田武明
小原武、葛西正美、川崎誠、奥嶋啓志、杉本敏宏、河原洋
坂本貴男、石山駿、中井学、大島いよ子、滝川正子
池内寛幸　大沼淳一・章子（ジョムソンから早期帰国予定　３名）

４、日程

９月２２日　日本～香港～カトマンズ
２３日　カトマンズ～（専用車）ベシサール　（７９８m）
２４日　ベシサール～バウンダラ　（１３３２m）
２５日　バウンダラ～チャムチェ　（１３９７m）
２６日　チャムチェ～バガールチャップ（２１０４m）
２７日　バガールチャップ～チャーメ（２６８５m）
２８日　チャーメ～アンナプルナ BC ～ピサン上村（３２２３m）
これまで　約６１．５ｋm　一日平均　１２ｋm
２９日　ピサン上村～ピサンピーク BC　（４３８０m）高度順応日
３０日　ピサンピーク BC～ピサン上村　（３２２３m）高度順応日
１０月１日　ピサン上村～マナン（３５５３m）
２日　マナン～レダール（４２１６m）
３日　レダール～ハイキャンプ（４８８３m）
４日　ハイキャンプ～トロン・ラ（５４１５m）～ムクチナート（３６７９m）
５日　ムクチナート～ジョムソン（２７３９m）
これまで５５．５Km　　一日平均　１１ｋm

６日　ジョムソン～マルファ（２４７０m）休養日
７日　マルファ～レテ（２４８０m）
８日　レテ～タトパニ（１１９０m）
９日　タトパニ～シーカ（１９３５m）
１０日　シーカ～ゴラパニ（２８５０m）
１１日　ゴラパニ～ブーン・ヒル（３２３３m）～ヒーレ（１４３０m）
１２日　ヒーレ～ナヤプル～（専用車）ポカラ（８２０m）
これまで７２Km　　一日平均　１２km
第四チームと合流
１３日　以降は第四チームと同一行動である。第四チーム日程を参照のこと



（株）富士国際旅行社　資料を参照